

In the Future 2009

21 世紀型企业への転換を図る

会社を成長させる人事・労務管理術

中小企業に適したこれからの賃金制度②

理想的な人事制度・評価制度・賃金制度のイメージ

6月号までのポイント

中小企業に適したこれからの人事制度【3月号～5月号】

1. 成果主義を導入するためには、きちんと運営できる土壌を作らなければならないこと
2. 成果主義を導入する際に評価制度が「裁きの人事」となってはならないこと
3. 他社マネ型（大企業制度導入・モデル制度導入）ではうまくいかないこと
4. 評価と育成は表裏一体の関係でなければならないこと
5. 評価は同業他社の社員に負けない社員を育てるためのものでなければならないこと
6. 安易な賃金テーブル導入は、人事制度、評価制度を難しく、複雑にしてしまうこと
7. 賃金制度は「我が社が求める社員」を表現したものでなければならないこと
8. 人を育てるためには、まず「経営目標」が必要なこと、経営目標がないから人事制度がない、人事制度が作れないこと
9. これからの人の育て方、「人の育成」に重点を置いた人事制度が求められていること

中小企業に適したこれからの賃金制度【6月号】

- ・ 賃金制度をめぐる経営者の悩みとその対処方法
- できる社員に多く、できない社員に少なく支払うには、何をもって「できる社員」なのか「何ができればダメな社員」なのかというハッキリとした評価基準と評価の方法を作り上げる必要があること



1. 社員がやる気に満ち溢れた職場環境を形成する
2. 会社の業績が向上する
3. 会社が儲かる
4. 社員にたくさんの賃金、賞与を支払える
5. 会社も社員も喜ぶ
6. 社員はさらにやる気を出す
7. 1.へ戻る

理想的な人事制度・
評価制度・賃金制度

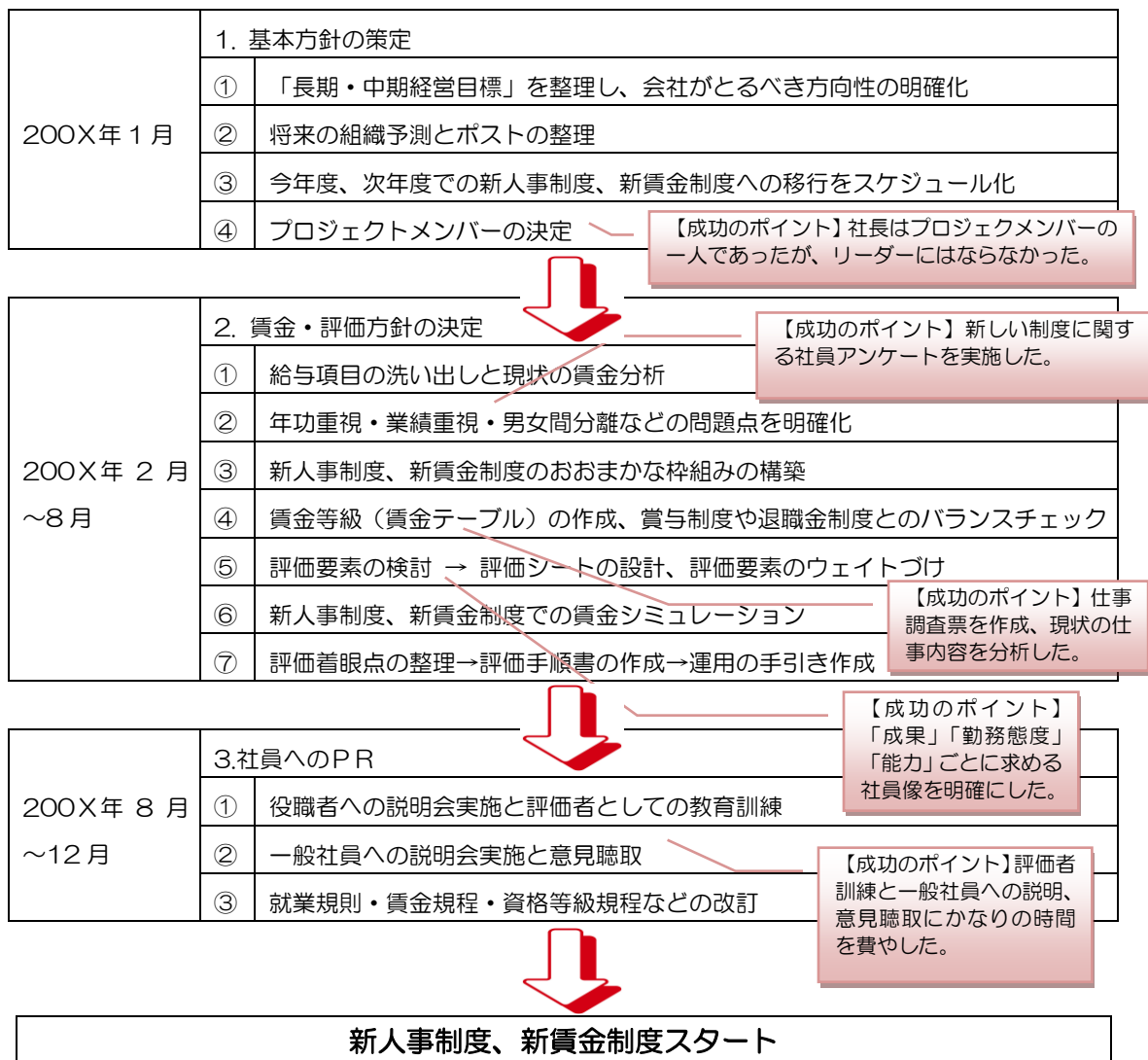
今月号で本シリーズは最終回です。これまでご紹介してきた「人事制度の考え方」と「これからの賃金制度」をもとに、実際の制度づくりの手順や他社の事例についてご紹介します。

労使トラブル業種別診断サービス ⇒ <http://www.iwaki-pmo.co.jp>

現在、企業を取り巻く経営環境は非常に厳しいものがあります。しかし、安易に雇用調整（退職勧奨や解雇などのリストラ）に走るのではなく、これまで以上に「人」の大切さ「人」の活用を考えることが重要だと思います。そうすると個々の社員の能力アップと組織力向上への取り組みが必要となってくるでしょう。繰り返しになりますが、「人を育てる」をテーマに、今後の人事制度、賃金制度を考えられてはいかがでしょうか。

新人事制度・新賃金制度への移行フロー

ご紹介する事例は、東京都内、サービス業、従業員数 20 名のH社の事例です。H社では、これまでの評価基準が曖昧で社員から不満が出ている、これまでの賃金制度では能力と賃金の整合性が取れなくなっている、社員の教育計画、教育目標が立てられないなどが問題となっていたため、『人を育てるための人事制度と賃金制度への移行』に踏み切りました。

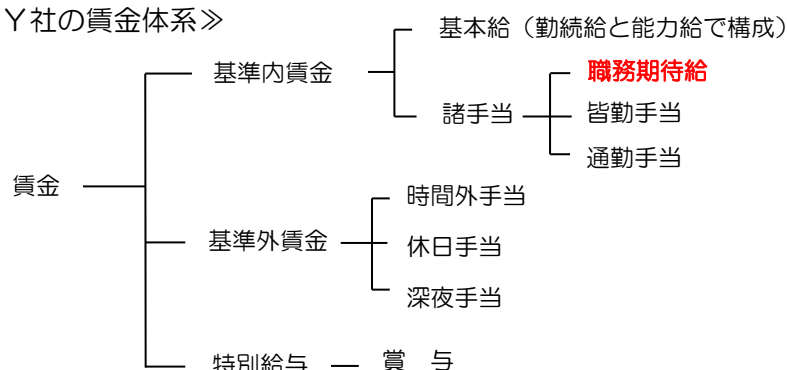


名ばかり管理職対策ご相談窓口設置中 ⇒ フリーダイヤル 0120-81-4864

神奈川県S市のIT企業の取り組み 職務期待給…？！

Y社（神奈川県S市のIT企業）では職務期待給なる手当を支給し、社員のモチベーション維持を図っています。

《Y社の賃金体系》



Y社の支給する職務期待給とは、その社員が担当する職務に対する会社の期待度を事前に評価し支給するという手当です。自分が任されている仕事がどれだけ重要なのか、そして、会社にとどれくらい期待されているのか、を社員に感じて欲しいという社長の思いを支給根拠としています。ただし、半期ごとの賞与算定期間において評価を行い、会社の期待しているパフォーマンスが発揮できていないと判断された場合には、賞与において減額調整されます。

給与明細書の活用、ユニーク手当等など…？！

東京都M区の建設会社では、毎月支給される給与明細書に顧客の声を載せています。社員からは「お客様からのありがとう」というメッセージを見ると、もっと頑張ろうという気持ちになれると好評です。また、埼玉県O市のG社では、給与明細書に社長からのメッセージが印字されています。「今月もご苦労様」「今月は特に頑張ってくれましたね」、その月に誕生日を迎えた社員に「お誕生日おめでとう！」などとメッセージが書かれています。さらにユニークな企業では、サイコロで給与の一部を決定する「サイコロ給」、某FCチェーンのスマイルO円にヒントを得た「スマイル給」などの諸手当を支給し、社員のモチベーション維持、向上を図っている例もあります。このようなちょっと変わった賃金制度を導入する経営者の弁ですが、「他社と違った賃金制度をとることで、友人知人から『うらやましい』と言われる。それだけで社員はやる気を出す」とのことです。

最後にユニークな事例をご紹介しましたが、経営者のみなさんは、あの手この手で社員を育てよう、定着させよう、と考えている訳です。是非、御社にあった「これからの人事制度、賃金制度」を考えてみてください。



ねんきん定期便に関するご相談受付中 ⇒ フリーダイヤル 0120-81-4864